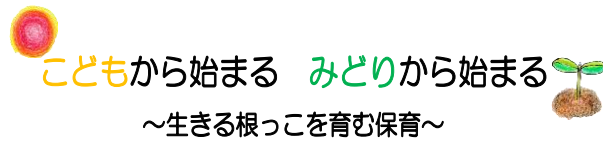


幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園



## 「まこと先生だより 第25号」

### 以上児への異年齢保育クラス導入の説明 <3>

昨年12月16日に異年齢保育クラス導入に関して保護者説明会を開催しました。今回で3回目となります以上児への異年齢保育クラスの導入に関する説明につきましては、その時に参加していただいた保護者の皆様から貴重なご質問等をいただきましたので、その場での回答に加えて、現状での基本的な考え方や方向性をお知らせいたします。

保護者会で貴重なご意見やご質問等をいただきましたが、当日は録音をしておらず、園長がその場で書いたメモを参考にしていますので保護者のご発言の要旨と一部違うところもあるかもしれません。お詫びいたします。参加していただいた保護者の方々にいただきました貴重なご意見やご質問等を十分に検討し、4月から始まる異年齢保育に役立ててまいります。貴重なご意見やご質問をいただきました保護者の皆様に感謝いたします。

なお、異年齢保育導入前の現状での方向性等を今回はお知らせいたしますが、昨年  
から2月末まで多くの先生方を先進園に出張していただき、異年齢クラスで一日体験  
をしていただきました。先生方の一日体験と4月からの異年齢保育の実践を通して、  
この回答の方向性が大きく変わることもあるということを申し添えます。

#### <ご質問1>

以前は定期的にドリーミングデー（異年齢活動日）があった。週1回などで慣らして行くのではなく、4月からいきなり異年齢保育を開始するのですか。

#### <回答及び今後の方向性>

ドリーミングデーは、昨年度まで以上児を対象にして毎月1回程度実施してまいりましたが、今年度はコロナの関係で実施を見合わせました。ドリーミングデーは3歳から5歳までの異年齢交流を行いましたが、その時々交流であり、目的を明確にした異年齢での活動には至っていません。4月からの異年齢保育導入につきましては、園児の緊張等を緩和するために、2月から毎週1回程度、3月は毎週2回程度の2歳児から4歳児で異年齢交流を行っています。

<ご質問2>

異年齢クラスとなると、年少児と年長児の発達や成長の大きな違いがあると思います。ケガなどが心配です。各クラス2名体制でフォローは大丈夫でしょうか。

<回答及今後の方向性>

発達や成長の違いによる園児の支援を行うために、担任1名と担任補助1名の2名体制で異年齢保育クラスを支援してまいります。また、4クラスの支援のために、フリーの先生を1名配置して、合計9名体制で異年齢保育クラス4クラスの支援をしてまいります。

<ご質問3>

「ボールで遊ぼう」「英語で遊ぼう」「音で遊ぼう」やその他の活動など、発達の違いもあるため、何の活動を異年齢で行うのか、何の活動を同年齢で行うのか。はっきりと分かると安心します。

<回答及び今後の方向性>

朝や帰りの集まりの時間などを含め、多くの時間は異年齢クラスで過ごします。しかし、5歳児が行っている「ボールで遊ぼう」などについては、園児の運動面の成長や発達及び安全を考慮し同年齢での活動とする予定です。4月からの異年齢保育は、全ての時間を異年齢で行うことはせず、園児の成長と発達を考慮し、異年齢保育を中心としながら同年齢保育を適切に導入していく予定です。

<ご質問4>

同年齢から異年齢になることで、子どもたちにもストレスが出るのではないかと。異年齢クラスになった時の心のケアはどうされますか。

<回答及び今後の方向性>

異年齢保育は、これまで一緒に生活してきた同年齢園児が4分の1となります。ご心配されておるように異年齢保育開始当初は人間関係の変化により園児にストレスが出る可能性もあります。そのために2月から2歳から4歳児による異年齢交流を定期的に実施しており、3月の中旬からは4月からの異年齢保育クラスの編成で活動を進め、園児同士の人間関係を深めるようにしていきます。また、4クラスを合計9名の先生方でお世話しますので、気になる園児等の心のケア等に努めてまいります。導入初年度の4月当初は、子どもたちに何らかの影響が出るのが予想されます。お気づきの点があれば、早急に担任等にご連絡ください。

<ご質問5>

現在のクラスを4つに分ける場合、クラス分けはどのように行うのですか。

<回答及び今後の方向性>

私が経験した小学校や中学校では子ども同士の人間関係、運動能力、住んでいる住所（地域）など多くの情報をもとに学級編成を行います。

本園では、特に園児同士の人間関係をもとにしてクラスを4つに分けていきます。すでに現担任が園児同士の人間関係を重視して同一クラスを4つに分けました。そして、2月から3月にかけて定期的に行う異年齢交流時に2歳児と3歳児と4歳児の交流の状況や年長児のお世話の状況等をもとに、異年齢による人間関係を注意深く見届けて、3月中旬までには4月からの4クラスにクラス分けることにしています。

なお、3歳から5歳の異年齢保育を行う場合には、「きょうだい」や「双子」のご家庭があります。きょうだいは異年齢であり、双子も異年齢関係にあります。損のため、きょうだい関係と双子関係を継続するために同一クラスにしたいと考えています。この点については事前に保護者にご相談いたします。別々のクラスをご希望される場合は、現担任にお伝えください。

#### <ご質問6>

同年齢を基本に異年齢の活動をして行くのはどうなのか。急ぎすぎているのではないか。一人っ子家庭が多いという説明ですが、清武みどりの各家庭では子どもの数はそこまで少ない実態ではないとおもいます。

#### <回答及び今後の方針>

清武みどりの家庭には一人っ子家庭は少ない方だと思います。しかし、将来的には全国の傾向と同じように少子化の波を受けて一人っ子の家庭が宮崎市内も増えていくと考えています。

異年齢保育導入に関しましては、年度途中にお知らせいたしましたので、保護者の皆様には急ぎすぎているというお考えもあるとは思いますが、年度初めからいろいろと園内で準備を進め、学園本部の了解も得ております。本園の運営方針としてお考えいただきたいと思います。

#### <ご質問7>

異年齢保育の導入について、保護者へのアンケート（賛成か反対か）などで意見を伺って、その意見は異年齢保育の導入に反映されますか。

#### <回答及び今後の方向性>

本園運営上の決定事項であり、宮崎学園本部にも了解を得ています。保護者へのアンケートをもとに異年齢保育導入の可否について計画を変える事はいたしません。しかし、今後の異年齢保育導入に関して、保護者の皆様からいろいろとご意見等を伺う機会を設定したいと考えております。

<終わりに>

本園における異年齢保育導入は、将来予想されるご家庭の状況等から子どもたちの生きる力を育成するため、これまでの「同年齢保育を中心とした保育」から「異年齢保育を中心としながらも同年齢保育を適切に導入していく保育」へと園全体を変えて行くこととなります。

つまり異年齢保育導入は、「異年齢保育の良さ」に「同年齢保育の良さ」を加えて保育を進めていくこととなります。園では異年齢保育の導入を見据えてこれまでに理論研究や先進園視察などを行ってまいりました。しかし、導入初年度の異年齢保育の導入の経験を通して改めて成果や課題が明らかになることもあります。

現在、先生方は4月からの異年齢保育導入に向けて、急ピッチで意識改革と環境の整備を進めております。保護者の皆様にも、異年齢保育導入に関しまして、いろいろとご心配があるとは思いますが、子どもたちの健やかな成長のために教職員一同頑張っ

令和5年3月

園長 有嶋 誠